



学校だより かけ橋

横須賀市立汐入小学校 校長室

20011. 5.25
No. 5



ほの会

5月17日(火)「ほの会」の方々による読み聞かせがありました。もう10年以上も続いている汐入小の伝統行事です。

「ほの会」というのは、本の読み聞かせをしてくださる方々の会です。会の名前の由来をうかがったら、

「本と親しもう」の「ほ」

「稲穂」の「ほ」

「ほっとする」「ほんわかする」の「ほ」等々、いろいろなお話をいただきました。会の名前から様々な連想が広がる。それが、おもしろいのだと感じました。

さて、この日は、いつもの朝の会の読み聞かせと違い、ミニロングということで、それぞれ30分かけて行いました。3年生の教室を見学したのですが、ついつい引き込まれて、最後まで子どもたちと一緒に楽しませていただきました。

はじめは、低学年が30分もお行儀よく聞いていられるのかと思ったのですが、進行の仕方に工夫があり、これなら子どもたちがしっかり聞くことができるわけだと納得しました。

工夫 その1：最初に30分間に扱う物語を順番に黒板に示して、子どもに期待感を持たせる。

工夫 その2：時々、間を取って、子どもが感じたことを声に出せるようにする。

工夫 その3：ちゃんちゃんこなど、ちょっとした衣装を着ることによって語り部の雰囲気を出す。

工夫 その4：登場人物によって、声色や語り口を変える。

以上のような工夫があるおかげで、子どもたちは、物語の世界に浸ることができていました。しかし、何より素晴らしいと感じたのは、ほの会の方々、子どもたちから元気をもらっていることです。「本を読んであげる」と言うのではなく、「私の大好きなお話を一緒に楽しもう。」という気持ちで、やってくださっているのが、よくわかりました。

読書の大切さが叫ばれていますが、大切だからといって無理矢理読まされてはいやになってしまう。特に、小さい子どもほど、大人が楽しそうにしていることには、子ども自身も自然に親しむものです。家庭で、読み聞かせをする際のヒントを見つけたように感じました。保護者の方も、ご都合がございましたら、是非見学にいらしてください。

次の読み聞かせは、6月7日(火)、朝の会の時間(8:15~8:35)に、高学年で行います。今後、第1火曜日に高学年、第3火曜日に低学年という予定で、朝の会の時間を使った読み聞かせをやっていきます。2月7日には、全学年で、45分間読み聞かせをやっていただく予定です。



子どもと学ぶ

横須賀市から、6年生の子どもたちに、「横須賀ゆかりの歴史上の人物（子ども向け）」という小冊子が配られます。内容を見ると、「そうそう知っている。」という内容と「へー、そうだったんだ。」と再発見する部分がありました。子どもの教科書を見ると、大人の自分が知らなかった内容に触れることもあります。教科書を見ながら、子どもとそんなやりとりをするのも楽しいものです。そんな親子の交流が、子どもの学ぶ意欲を育む一つの要因になるのではないのでしょうか。

いかにして、子どもの知的好奇心を刺激して、学びのスイッチを入れるか。答えは、一通りではありません。永遠の課題です。

以前、「夏の家族旅行は、社会科の教科書に載っている場所に行っています。」という方がいました。学習の幅を広げたり、深めたりするのは、事前の経験と事後の追体験です。学校では、学びのきっかけを作ります。それを我が子に合った方向に深めていくのは、家庭教育の力が大きいと思います。学校教育と家庭教育の連携が大切です。



ちなみに、先の小冊子には、ヴェルニーと小栗上野介が載っています。先日、1年生が生活科の時間に、ヴェルニー公園を散歩してきました。1年生の「楽しかった」「バラがきれいだった」という感想から、3年生で「なぜヴェルニー公園という名前なんだろう？」という疑問につながり、6年生の歴史の学習で、「どんなことをやったのか調べてみよう。」という学習につながっていきます。子どもの発達段階に合わせて、学びが深まるようにしています。低学年のころから、ヴェルニー公園で遊んでいる汐入小の子どもたちは、幕末の歴史に強くなるのではと密かに期待しています。

廊下に子どもたちが作った俳句が掲示してありました。

春の風 サクラとともに かけぬける

春の花 そよ風あびて おどってる

子どもの感性って素敵ですね。



縁の下の力持ち



学校は、授業をやっている先生方だけではなく、多くの人たちに支えられています。桜の季節には、毎朝、玄関にたくさんの桜の花びらが落ちていました。子どもたちが帰るころには、なくなっています。実は、毎日、用務員さんがきれいにしてきてくれたのです。玄関前の花壇の雑草を取ってくれたのも用務員さんです。

風が強い日に、校庭の砂ぼこりが周りに飛ぶのを防ぐために、毎日のように、教頭先生や級外の先生がスプリンクラーで水をまいてくれます。スプリンクラーが届かないところは、ホースで撒いています。見かねた用務員さんが、自家製のスプリンクラーを作ってくれました。学校にいらした時に、グラウンドのどこにあるのか探して見てください。

毎日の生活の中で、それぞれの学年に応じて、些細なことでも変化に気づき、それをやってくれた人に感謝できる子にしていきたいものです。

